

他自治体の手引き・事例集

他自治体において作成されている手引きや事例集のうち、特徴的であると考えられるものを数例提示する。

1. 指定都市

①札幌市『地域×NPO 連携ガイド』【頁数：29 頁】

字が大きく読みやすい。連携の理由やポイントを最初の 7 頁で説明したのち、地域課題解決のためのネットワーク構築事業の成果として 9 事例紹介。写真を多用し、事例ごとに事業内容のほか、連携のポイントを掲載している。

②川崎市『多様なコラボレーションによる暮らしやすい地域社会づくりに向けて』

【頁数：7 頁】

事例集。写真やタイトルなどの工夫がされており、パンフレットのような仕立てになっている。事例は「市民活動団体と行政」「企業と行政」「大学と行政」「市民活動団体と企業」「企業と町内会・自治会など」の 5 事例。最後の頁に協働・連携の基本理念を掲載している。

③京都市『協働がおいしくなる kyo のレシピ帳』【頁数：8 頁】

附属機関と作成したもの。文章が簡潔で、手書きのイラストもありとてもわかりやすい。「成功事例」ではなく、あえて「協働」の中で起こった「トラブル」や「失敗」に注目し、その原因や解決策を分かりやすい言葉でまとめている。

2. 指定都市以外

①長岡市『きょうどう』【頁数：59 頁】

条例検討委員、NPO、市による作成。4 コマ漫画のほか、地域ごとに協働している人に焦点をあてて写真などを交えて紹介している。

②中津川市『なかつがわ市民協働の手引き（概要版）』【A3 両面 1 枚】

本編の他に作成された概要版。協働の領域、ステップ（準備の準備、準備、実施、評価）、地域の現状とゴールなどがまとめられている。

③豊川市『わたしも参加!!とよかわ 人の輪 地域の和』【頁数：18 頁】

構成は、地域の課題、市民活動や協働の意味。協働によるまちづくりの取組紹介、協働の始め方、協働の形態、評価、シート。イラストを多用し、文字も大きく、かなり噛み砕いてわかりやすく表現している。

下記の手引きや事例集につきましては、各自治体のホームページよりご覧ください。

◆札幌市

「地域×NPO 連携ガイド」

◆川崎市

「多様なコラボレーションによる暮らしやすい地域社会づくりに向けて」

◆京都市

「協働がおいしくなる kyo のレシピ帳」

◆長岡市

「きょうどう。」

◆中津川市

「なかつがわ市民協働の手引き」(概要版)

◆豊川市

「わたしも参加!!とよかわ 人の輪 地域の和」